

保護者アンケート補足資料

★質問に対して分かりづらいと思われる項目について具体的に説明をします。

- 6 ●特色ある学校づくり推進事業を活用し、特色のある教育活動をおこなっているか。
- ・学校づくり推進事業の予算を活用し、本校では「心の相談員」「図書館司書」「校内整備員」を配置しています。また、子ども達の植物栽培のための培養土や肥料を購入しています。
 - ・「心の相談員」は週に2日間配置され、子どもたちの悩みの相談を受けています。毎回10人以上の相談があります。
 - ・「図書館司書」は週2日のうちの1日分を特色ある学校づくり推進事業の予算で配置しています。お昼の放送での読み聞かせ、図書の貸出、月1回の読み聞かせの取りまとめ、図書の整備などを行っています。
 - ・「校内整備員」は運動場の草刈りや樹木の剪定など、校内の整備を担当しています。運動会に向けて、夏休み後の草刈りを行っています。年間で256時間が割り当てられています。
- 7 ●校舎内外の施設・設備の管理をしっかりとおこなっているか。
- ・毎月職員全員で自分の担当場所の安全点検をして、その結果を提出し破損等があれば、直ちに修繕を行っています。
 - ・年1回の業者による点検を行っています。
 - ・週番を設け、複数で校舎の施錠を毎日行っています。
- 15 ●子どもとのふれあいを大切にし、教育相談等で児童生徒理解につとめているか。
- ・教育相談の期間を設け、児童と個別に1対1で担任が悩みなどを聞き取り、対処しています。
- 1回目 6月29日(水)～7月1日(金) 2回目 11月21日(月)24日(木)25日(金)
- ・保護者への学校生活アンケート(4月下旬・6・9・11・1月上旬)
 - ・敵部っ子を語る会(4月6月9月)で個々の児童について全職員で知る機会としています。
 - ・毎週月曜日と木曜日の帰りの打ち合わせで児童についての情報を全職員で共有しています。
 - ・「いじめ防止対策委員会・不登校対策委員会」や「敵部っ子を語る会」で情報の交換を行い、共通理解を深めたり対処の仕方、指導方法について、協議したりしています。

1 6 ●学級活動、児童生徒会活動、学校行事で、子どもが生き生きと活動できるように工夫しているか。

- ・5・6年生を中心に委員会の活動や集会、行事の計画を立てることで、子どもたちの企画力や自主性を育てています。
- ・児童の企画によりファミリー活動を通して学年交流をしています。
- ・児童集会で児童自ら集会を計画・実行することを通して、畠部小の一員としての自覚を深め、進んで自分たちの学校をより良くしようとする気持ちを育んでいます。
- ・児童集会で委員会活動等の発表の場とし、児童の自主性や創造性を養っています。
- ・運動会、キャンプや修学旅行などで、児童が自分たちで企画・運営する場面を設定しています。
- ・各クラスで児童の計画により、様々な催しに取り組んでいます。
- ・よりよい学級づくりに向けて学級会をひらき児童自ら考える機会を作っています。

1 7 ●基本的な生活習慣や基本意識の向上を図るように指導しているか。

- ・保健だよりの活用や外部講師等の指導を通して、食についての指導を行っています。
- ・『早ね・早起き・朝ごはん』の大切さを指導し、家庭へも働きかけています。(生活チェック表の実施)
- ・健康診断で疾病を発見するとともに、自分の成長を確認する場としています。
- ・学校保健委員会で感染症をテーマにして、どのように行動したらよいか具体的に考える場を設定しました。

2 0 ●読書環境を整え読書に親しむ活動を進めているか。

- ・毎週2日図書館司書が配置され、利用指導やお昼の放送での読み聞かせ、図書の整備などを行っています。
- ・学級の図書利用の時間を設け、利用指導や本の貸し出しを行っています。
- ・読書タイムを設定し（8：40～8：55）読書をする機会を与えていました。
- ・毎月1回ボランティアによる読み聞かせを行っています。
- ・図書館の本を借りた冊数により、賞を与えています。（25冊銅メダル、50冊銀メダル、100冊金メダル・畠部っ子賞）
- ・なかよし広場に分館を設け、気軽に読書をする場にしています。
- ・図書ボランティアによる図書の整備等を行っています。